

平成 30 年 4 月 23 日 河村たかし名古屋市長定例記者会見

<http://www.city.nagoya.jp/mayor/page/0000104157.html>

https://youtu.be/m_EW7o_mIr8?t=21m23s

名古屋市民オンブズマンによる市長記者会見概要

記者：5/7 閉鎖 倒壊の危険ある

天守台詳細調査閉館を見込んで

石垣詳細調査 いつ頃出来るか

調査 半年が遅れている 影響が無いか

河村：天守の加重 石垣の上に載っていない

7000 トン ケーソンの塊

その上に加重を受けている

今の天守の石垣はパネルのようなもの

熊本城も同じ 8本 6本 コンクリートパイルが受けている

加重は石垣に乗っていない

沈んだだけ 大天守

内側は痛んでいる 無傷

知らんでね 天守の石垣 違う

名古屋も熊本も石垣に加重が乗っていない

濃尾地震は載っていたが、それでも無傷

意外と知らない

今回は外側は大丈夫 濃尾震災

内側の石垣を見る必要がある 地下 根石背面調査進める

予定に遅れることはない

記者：全体のスケジュールに影響は

河村：早いほうがよい

誤解されている 石垣の上には載っていない 熊本城もそう

熊本城 6階までエレベータをつける

これまでエレベーターがなかった

熊本城 市長 木造復元の話し 熊本城は名古屋城と違って図面はない

いわゆる博物館

ようけのひとに早く来てもらう

僕の言葉「名古屋城とは全然違う」図面がある

書いてもらわんと

名古屋城事務局：穴蔵石垣説明 現状変更許可の手続 早急に
早ければ5月中に

河村：内側？土が詰めてある

名古屋城事務局：内側と裏側

河村：天守閣の内側 2メートルくらいあるか
外から見える石垣の内側の石垣

名古屋城事務局：内側

河村：書いてちょうよ 石垣の上に天守の加重は乗っていません。

熊本城も同じです。

熊本城大天守石垣 内側は若干損傷していますが、外側は10何センチ沈んだだけで無傷
テレビで何回も放映されましたのは、大天守外側の石垣ではない
濃尾大地震の時でも無傷だった

記者：文化庁への現状変更手続
申請はされたと言うことか

名古屋城事務局：文化庁への申請に当たって、石垣部会に諮る必要があるので、
そちらの手続を進めている

記者：元々の予定では申請そのものが2-3月ではなかったか

名古屋城事務局：5月に調査を始めるには4月には文化庁に申請する必要がある
それにむけて努力している

記者：2-3月ではなかったか

名古屋城事務局：4月から現況調査 まとまってから行う予定
それほど早くできるものではない

記者：4月中に申請する予定なのか

名古屋城事務局：できれば

記者：許可が出てから調査は始める 5月のいつなのか

名古屋城事務局：出来るよう努力している

記者：石垣部会 いつ開くのか

名古屋城事務局：今後開く

記者：いつくらいか

名古屋城事務局：なるべく早く

記者：部会の先生から意見がでていますが、うまくいきそうか

名古屋城事務局：穴蔵調査については、昨年9月の石垣部会で

お諮りして、事前調査をしっかりとやって、発掘調査は最低限にするよう言われた
かなうように案を作っている

記者：「石垣は無傷」名古屋城と言われたが

河村：内側は知らんけど、外側は濃尾地震では無傷

記者：今の石垣も修理する必要があると考えてのご発言か

河村：外側は無傷なので、いいんじゃないかという説があります

名古屋城事務局：調査をしている それをみて判断する

記者：現在やっている調査を踏まえて特に問題は無いので

手を加える必要は無いと考えているわけではないのか？

河村：やってみないとわからない

火が入っている石垣については、私は聞きましたが、
大変大きな遺産だ、変えてはいけないという説もある

歴史的事実

なんでもぼんぼん新しいものにかえればよいというものではないと聞いている
ちゃんと調査する

ほとんどの市民が誤解しているのは、「石垣の上に 7-8000 トンの加重が乗っている
したがって、石垣をしっかりとしないと危ない、熊本でもそう」
それは違う

記者：石垣のはらみ きれいに積まれた 膨らんでいる部分
直す必要があるのか

河村：直す必要がある 上から土が下がって

名古屋城事務局 はらみは前から指摘されている
原因も含めて調査している

記者：昭和20年代 石垣が倒壊した写真 有識者会議で示された
天守台石垣は倒壊は全くないという判断か
無傷だということか

名古屋城事務局：現在の天守閣を作るとき、若干手が入っている
現在調査している 現況調査をしている

記者：現段階では無いというご判断か

名古屋城事務局：手が入っているかと言えば、入っている。
今後どうすべきか、というのは今後のご判断

記者：無傷では無いという理解でよいか

名古屋城事務局：手が加わっていることは間違いない

河村：またむちゃくちゃ壊れているように書いたらいかんよ、本当に
誤解させるで 本当に
熊本のお城なんかみんな誤解してますよ

天守の石垣がみんな崩壊したように
13センチだったかな 12・3くらい下がった
内側は痛んでいる
近代工法はすごいですよ
外から見えないでわからない
コンクリートの塊が入っていて、荷重を支えているなんて
熊本はコンクリートパイル わからない

記者：ケーソンの安全性を確認するのでしょうか

河村：それは確認しないといけないな

名古屋城事務局：ケーソン自体の安全性と、ケーソンを支えている地盤の
安全性を確認する必要がある

記者：いつとか、どのような方法で行うのか

名古屋城事務局：ケーソンの方も文化庁への申請が必要なので、
今後調整する

河村：熊本はパイルをやるのか？聞いていないのか。

熊本に聞いてみないといけないか。

コンクリートパイルよりケーソンの方が意味があると一般的には言われている。

でかい塊だから

コンクリートパイルはその地点だけ

ケーソンはチェックしないといけない

ケーソンをやめないといけないという議論はさすがに無い

ケーソンをやめて江戸時代そのままにしろという議論はない

記者：名古屋城の民間委託はどう考えているか

河村：7・8年前 早く倍頭を下げれるような人にやってもらいたい

「いらっしやいませ」入場料が高くなるなど言われている

永遠と延びているということ

情けない限り 自分で言っていてはいけないが

記者：進んではいけないということか

河村：天守が木造になったらはじめたいといっている

木造になれば人がいっぱい来る

今のうちからはじめないと やれるもの

名古屋城ばかりでは無いですが

記者：具体的にどの部分を任せるのか

河村：一番いいのは全部任せる

民間と役所 文化財に対して努力すると思います？

それを考えないといけない

民間の美術館どれだけあるのですか？

徳川美術館は そうでしょう。国宝も持っている。えらいものでしょう。

なんか間違っているのでは無いか 役人神話

記者：本格検討するのか

河村：はあ？

記者：本格的に検討するのか

河村：前から検討している さらに力を入れる

民間の場合 契約はどこでやるか コンペ 相当はいつている

本丸ネットワーク 20何年間 みんな泣いていた

補助金・事業費なし

夢童由里子さんの努力が無ければできなかった

ファイナル ありがとうございます。それで済む者か

歴代の名古屋城所長 できてありがとう言わないといけない

なんという水くさいこと

すごいこと はじめ夢童さんなにやっているんだって思ったって

記者：春姫道中終わった 来年はどう考えているか

河村：名古屋歴史探検 春姫道中始まったとは書いてある

やめるとは書いていない

やめんように 若干違う方法をとればよい 考えないと

記者：名古屋市としてどうしたいというのか、向こうの団体にお願いするのか

河村：お願いしますという 大変だから 補助金何もしないで続けるのは
補助金・委託金 どうしましょうかと大至急相談したい
本丸ネットワークから文書が来ている
議会にも出ている 名古屋城の管理の委託をさせて欲しいと

記者：天守閣前後 市長は行く予定は

河村：最後に1回くらいは サンキュウベリーマッチ
儀式なんかしないといけない

記者：セレモニー

河村：セレモニー。50何年ですか。名古屋の皆さん
がきんちょうのうち 何回か登った 名古屋のある意味シンボル
お礼の意味で

記者：役割について、閉館するに当たってのあらためてうけとめ
役割は今の天守閣どうだったのか 市長のお考えは

河村：小さいときの印象 尾張名古屋は城で持つ
シンボルとして甦らせる意味はあった
当時建築基準法の除外規定はあった 木造でも出来た
議論していたときはなかった 調べてもいい
コンクリートでしか作れないという状況の下で除外規定が出来た
間に合わなかった 木造がね 聞いている
あったらいい 木造にしようという

記者：熊本城エレベーター 博物館だから今回復元とは違う
今の発言 市長はエレベーターをつけたくないのか

河村：前から言っている 議会でも

記者：5月にエレベーターをつけるかつけないか市として決めよう

河村：市としては相談して専門家と話して決める

コンペの、いっぺん見てみるといいけど、技術提案交渉方式で手をあげてもらったとき、「木造復元」ピリオドを打っているはっきりしている 木造復元という前提で安藤ハザマと竹中工務店が手をあげたそうすると、普通の場合は100年もたてばすごい技術空を飛ぶようなエレベーターが出来るかもしれないが、普通はエレベーターなし。それは前から言っているなるべく人力をつかって、もし火災が起こったときどうするのか降りて来れない
いろんな言い方があるが、バリアフリーデーを作って、大勢人がきて、補助器具をつけてみんなで上られるようにするのも一つの方法だバリアフリーデーを作って、というのは議会ではしゃべっていないと思うが、昔からいっている
コンペをするときに、「木造復元」が前提なんです様式書にはっきり明示している 「木造復元」復元のスパンがどのくらいあるかというわけではないわけではない全部昔のものかということそうではない

記者：市長の考え「復元」の意味 エレベーターをつけると復元はないということか

河村：考えよう 竹中案には復元ではあるが、エレベーターがある場合と無い場合 2つ提案があった
現に全くないわけではない
イメージはやっぱり徳川家康のころのそのものをそっくりそのまま作るなぜならば昭和実測図・金城温故録全て残っているからだと思いますよ
だけどバリアフリーに最善の努力をするのは当然
チャレンジをやっていくということ
まだ4年ある その後も
法隆寺で1300年ですから、名古屋城も
法隆寺も法隆寺でさらに延びていきますが、今の現状でいえば
1300年は大事にしないといけない
名古屋市民 みんなでぞうきんがけしに行かないといけない
いろんな技術がさらに出来ることも考えられますので
ちょっとでもよおけの人が 車椅子だけで無く、目の見えない人とか、子どもさんとか

年くって足の悪い人だとか、一人でも多くの人に登ってもらえるように
最善の努力をすると

そういう意味でもすばらしい名古屋のお城だと言ってもらわないといけない
そう思いますよ

記者：市長としての希望としては、2か月に一度バリアフリーデーという
考えは変わらないのか

河村：2か月に1度か1か月に1度かわかりませんが、
毎日かも知れませんが、流れる工夫をするのは大事じゃ無いでしょうか。
技術は僕も直接ようけ電話しましたけれども、
みんな努力しようとするのがいいですよ
一方、やっぱり本当の普通の城を作ってくれと
本当の昔のお城を再現してくれと言う声もものすごく多いですよ
金返してくれと言っていますよ 100万円寄付した人が
エレベーターの付け方もあると思うが、
もし「昭和実測図に基づいた本物復元」契約の技術提案交渉方式に書いてある
そういえない場合は100万円返してくれって
2億円ちょっとですけど、熊本と比べると熊本の方が多いが、
熊本は地震があったのが大きいですし、
あんまり言っていないはいかんですが、お城の価値も重要だと思います